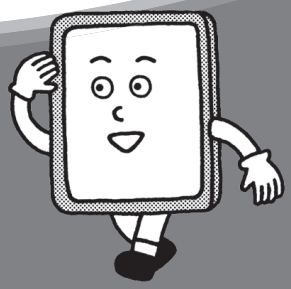
編修趣意書

教育基本法との対照表

※受理番号	学校	教科	種目	学年
105-104	中学校	美術科	美術	第１学年
※発行者の番号・略称	※教科書の記号・番号	※教科書名		
38 光村	美術 038-72、美術 038-73	美術１、美術１資料		

1. 編修の基本方針



美術で世界を広げ、深める

次世代を担う子供たちには、予測困難な社会の中でさまざまな変化に積極的に向き合い、他者と協働しながら新しい価値を創り出すことが求められています。この教科書で学ぶ子供たちが、自らの手で未来を切りひらき、人との関わりの中で力強く生き抜いていくための美術の力と豊かな感性を身につけられるよう、また、美術を学ぶ充実感を味わうことのできるよう、次のことを基底において編修しました。

特色 1

豊かな感性を育む

―― 造形的な視点を養い、感性を育む教科書です。

・・・

表現や鑑賞の活動を通して、造形的な見方や考え方を広げられるよう、紙面構成を工夫しました。また、身の回りにある美術に目を向け、生活や社会の中の美術文化と豊かに関わることができるよう、多様な作品を掲載しました。

特色 2

創造的な力を培う

―― 創造活動の喜びを味わえる教科書です。

・・・

生徒自らが主題を生み出し、豊かに発想し構想を練ることができるよう、具体的な手立てを示しました。そして、発想し構想を練る力と、創造的に表す技能を相互に関連させながら育成できるように配慮しました。

特色 3

生活や社会につなぐ

―― 美術を通して、生活や社会を見つめる教科書です。

・・・

美術の学びを、授業の中だけで閉じることなく、普段の生活や社会へ生かすことができるようにしました。自ら考えたり、発信したりすることで、身につけた力をさらに強化し、生きる力に大きく転化していけるようにしました。

特色 1 豊かな感性を育む

―― 造形的な視点を養い、感性を育む教科書です。

紙面構成

「表現」と「鑑賞」を関連させた紙面構成。

全ての題材に「表現」と「鑑賞」のアイコンを入れ、それぞれの活動を関連づけて学べるようにしました。

鑑賞 題材の初めに、鑑賞の問いかけを示しました。表現活動につながる造形的な視点を養います。

表現 発想・構想 発想を広げ、構想を練るための具体的な手立てを示しました。

P.22～23「その人らしさを捉える」

表現と鑑賞、相互の関連を図りながら学ぶことが求められています。

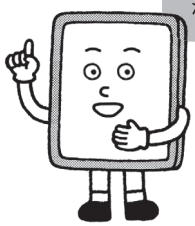
一つの作品を、さまざまな視点からじっくり鑑賞できるよう、「体感ミュージアム」という鑑賞中心の題材を設けました。

「体感ミュージアム」

作品を多角的な視点で鑑賞。

二次元コードから、コンテンツを見ることで、鑑賞がさらに深まるよ。

P.58～59「体感ミュージアム　『火焔型土器』を鑑賞しよう」



紙面の二次元コードから、作品の鑑賞をより深める、多様なコンテンツを視聴することができます。

リンクしているコンテンツ

- 書き込みツール&高精細画像
- 解説動画「火焔型土器」
- 360°写真
- 鑑賞を広げる言葉集

特色 2 創造的な力を培う

―― 創造活動の喜びを味わえる教科書です。

「みんなの工夫」

中学生が試行錯誤しながら制作する様子を紹介しています。

P.17「みんなの工夫」

- 生徒が作品を制作する様子を丁寧に取材し、試行錯誤しながら取り組む様子を詳しく紹介しました。
- 「自分ならどう表現するだろう」と、生徒自身の発想・構想を促します。

別冊「資料」

美術の学びを支える資料を、使いやすい別冊に。

- 技法、材料、色など、美術の学びに不可欠な資料をまとめて別冊にし、いつでも参照できるようにしました。
- 中綴じ製本なので、折り返すとコンパクトになり、机に置いて参照しながら制作できます。

別冊「資料」P.12～13「どんな材料でつくる?」

特色 3 生活や社会につなぐ

―― 美術を通して、生活や社会を見つめる教科書です。

巻頭「うつくしい!」

身の回りの「美」に気づく目を育てます。

身近にある美しさに目を向けられるよう、巻頭に、中学生が「美しい」と思った瞬間や風景を撮影した写真を、作者の言葉とともに掲載しました。

P.4～6「うつくしい! を探してみよう」

2. 対照表

[第１学年]

図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
はじめに	生徒が「うつくしい」と感じた瞬間や風景を撮影した写真を複数掲載し、お互いの価値観を尊重しながら創造性を培うことができるよう配慮しました。【第二号】	P.4-7
	生徒自身が身につける幅広い知識と教養について理解し、真理を求める態度を養うために、中学校3年間の美術科で学ぶことを概観しました。【第一号】	P.10-11
絵や彫刻など	生徒が自分自身の価値を尊重して、その能力を伸ばし、創造性を培うことができるように、「絵や彫刻」のオリエンテーションのページを設定しました。【第二号】	P.12-15
	生徒自身が考え、判断し、真理を求めようとする態度を養うために、各題材に目標を明示するとともに、初めの「鑑賞」に問いを設定しました。【第一号】	P.16-45
	お互いの価値観を尊重しながら創造性を培うことができるよう、さまざまな発想のもとでつくられた作家や生徒の作品を掲載しました。作品には適宜「作者の言葉」を添えるとともに、作家の発想・構想をコラムとして示しました。【第二号】	P.16-45
	幅広い知識と教養を身につけ、真理を求める態度を養うため、ウェブコンテンツとともに鑑賞することで、鑑賞を深める「体感ミュージアム」という題材を設定しました。【第一号】	P.20-21 P.36-43
	美術の学習が、豊かな情操と道徳心を培うことにつながっていることを意識できるように、ページ下に適宜「道徳科とのつながり」マークを示し、道徳の学習と関連する内容を示しました。【第一号】	P.20-23 P.28-29 P.36-43
	自他の敬愛と協力を重んずる態度を養うため、実際の中学生が制作する様子や生徒どうしで意見を交換する様子などを掲載しました。【第三号】	P.17、P.19 P.23、P.25-26 P.31、P.32-33 P.45
	生命を尊び、自然を大切にする態度を養うため、人物や自然物から感じ取ったことをもとに表現する題材を設定しました。【第四号】	P.16-19 P.22-27
	美術の学習が、豊かな情操と道徳心を培うことにつながっていることを意識できるように、ページ下に適宜SDGsの17の目標の番号を入れ、関連を示しました。【第一号】	P.32-33
	伝統と文化を尊重し、それらを育んできた我が国と郷土を愛する態度を養うため、我が国で大切にされてきた美術文化を積極的に掲載しました。【第五号】	P.36-43
デザインや工芸など	生徒が生活の中にあるデザインや工芸に気づき、その働きを考えられるよう「デザインや工芸」のオリエンテーションのページを設定しました。【第二号】	P.46-47
	生徒自身が考え、判断し、真理を求めようとする態度を養うために、各題材に目標を明示するとともに、初めの「鑑賞」に問いを設定しました。【第一号】	P.48-65
	お互いの価値観を尊重しながら創造性を培うことができるよう、さまざまな発想のもとでつくられた作家や生徒の作品を掲載するとともに、適宜「作者の言葉」を添えました。【第二号】	P.48-65
	美術の学習が、豊かな情操と道徳心を培うことにつながっていることを意識できるように、ページ下に適宜「道徳科とのつながり」マークを示し、道徳の学習と関連する内容を示しました。【第一号】	P.48-59 P.62-65
	自他の敬愛と協力を重んずる態度を養うため、実際の中学生が制作する様子や生徒どうしで意見を交換する様子などを掲載しました。【第三号】	P.49、P.51 P.54、P.57 P.61、P.63
	美術の学習が、豊かな情操と道徳心を培うことにつながっていることを意識できるように、ページ下に適宜SDGsの17の目標の番号を入れ、関連を示しました。【第一号】	P.50-51 P.62-63
	自然に親しみ、大切にする態度を養うため、「文様」、「木工芸」、「焼き物」など、自然を取り入れ発展してきた美術文化を取り上げました。【第四号】	P.52-55 P.60-63
	幅広い知識と教養を身につけ、真理を求める態度を養うため、ウェブコンテンツとともに鑑賞することで、鑑賞を深める「体感ミュージアム」という題材を設定しました。【第一号】	P.58-59
	伝統と文化を尊重し、それらを育んできた我が国と郷土を愛する態度を養うため、我が国で大切にされてきた美術文化を積極的に掲載しました。【第五号】	P.58-59
	他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うために、世界各国の作品を掲載し、共通点や違いを考える活動を設定しました。【第五号】	P.52-55 P.64-65
学習を支える資料	幅広い知識と教養を身につけ、真理を求める態度を養うために、全国の美術館や芸術祭に関する情報、美術作品の鑑賞の手立てを整理して掲載しました。【第一号】	P.66-69

別冊「資料」	材料や用具の使い方、発想の広げ方など、汎用性の高い内容をまとめることで、生徒自身が必要に応じて参照し、自主及び自律の精神をもって学習を進められるように配慮しました。【第二号】	P.2-25
	生徒自身が考え、判断し、真理を求めようとする態度を養うために、美術の学習に不可欠な形や色、光に関する情報を整理して掲載しました。【第一号】	P.26-35
	自然に親しみ大切にする態度を養うため、自然の中の造形を取り上げたり、自然物に由来する日本の伝統色などを紹介したりし、自然を大切にする態度を養うよう配慮しました。【第四号】	P.26-27 P.34-35

3. 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

特別支援教育への配慮

ユニバーサルデザイン・カラーユニバーサルデザインの観点から、全ての生徒に使いやすい教科書を目ざしました。教科書の全ページについて、専門家の校閲を受けています。

学習支援上の配慮

・学習の流れを把握し、見通しをもつことが生徒の理解を助けます。そこで、全ての題材に「表現」「鑑賞」のアイコンを入れ、学びの流れがひと目でわかるようにしました。また、「表現」については、発想・構想の具体的な手立てを示しました。

色覚特性への配慮

・色に頼ることなく線の種類や濃淡でも識別できること、色覚特性により判別しにくくなる色の組み合わせは行わないことなどを基本に作成しました。

書体に関する配慮

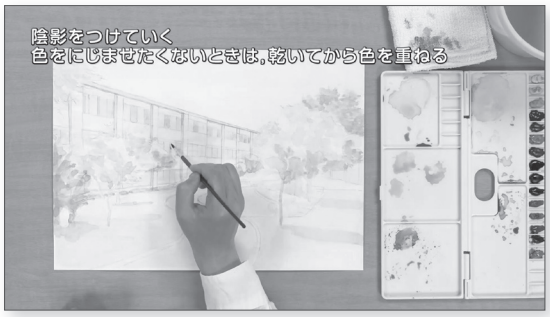
・「目標」や資料へのリンクなどの小さな文字は、UD フォントを使い、視認性・可読性を高めました。

各題材の「目標」。読みやすいUDフォントを使用している。

ICT 活用への配慮

二次元コードが示された箇所には、作品に書き込んで鑑賞できる「書き込みツール」や、技法動画、作家や作品の解説動画など、生徒の興味・関心を高めたり、学習を深めたりできる資料を豊富に収めました。

書き込みツール&高精細画像
「ムーラン・ド・ラ・ギャレットの舞踏場」



技法動画「水彩絵の具で風景を描く」

今日的課題への取り組み

生徒たちを取り巻くさまざまな課題に対し、関連性を示したり、関心を促すコラムを設けたりしています。

SDGs との関連

・美術の学習が、SDGs の 17 の目標と、どのように関連しているか、ページ下にマークを入れて示しました。

道徳教育との関連

・道徳科での学習とのつながりが捉えやすいよう、ページ下にマークを入れました。

カリキュラム・マネジメント

・他教科の学習と関連がある題材には、「○○科とのつながり」というミニコラムを設定しました。

多様性の尊重

・さまざまな国や地域、ジェンダーバランスを意識して、掲載する作品を選定しました。

SDGs 15

SDGsや道徳教育との関連は、各題材のページ下に示した。

道徳科とのつながり　郷土の伝統と文化の尊重、郷土を愛する態度

音楽科とのつながり

音楽を聴くときは、声や楽器による音色の違いや曲のリズム、音の強弱など、音楽科で学んだポイントに注目しよう。音楽から広がるイメージが、より豊かになるだろう。

編 修 趣 意 書

学習指導要領との対照表

※受理番号	学校	教科	種目	学年
105-104	中学校	美術科	美術	第１学年
※発行者の番号・略称	※教科書の記号・番号	※教科書名		
38 光村	美術 038-72、美術 038-73	美術１、美術１資料		

1. 編修上特に意を用いた点や特色

特色 1 豊かな感性を育む

── 造形的な視点を養い、感性を育む教科書です。

学びが深まる紙面構成

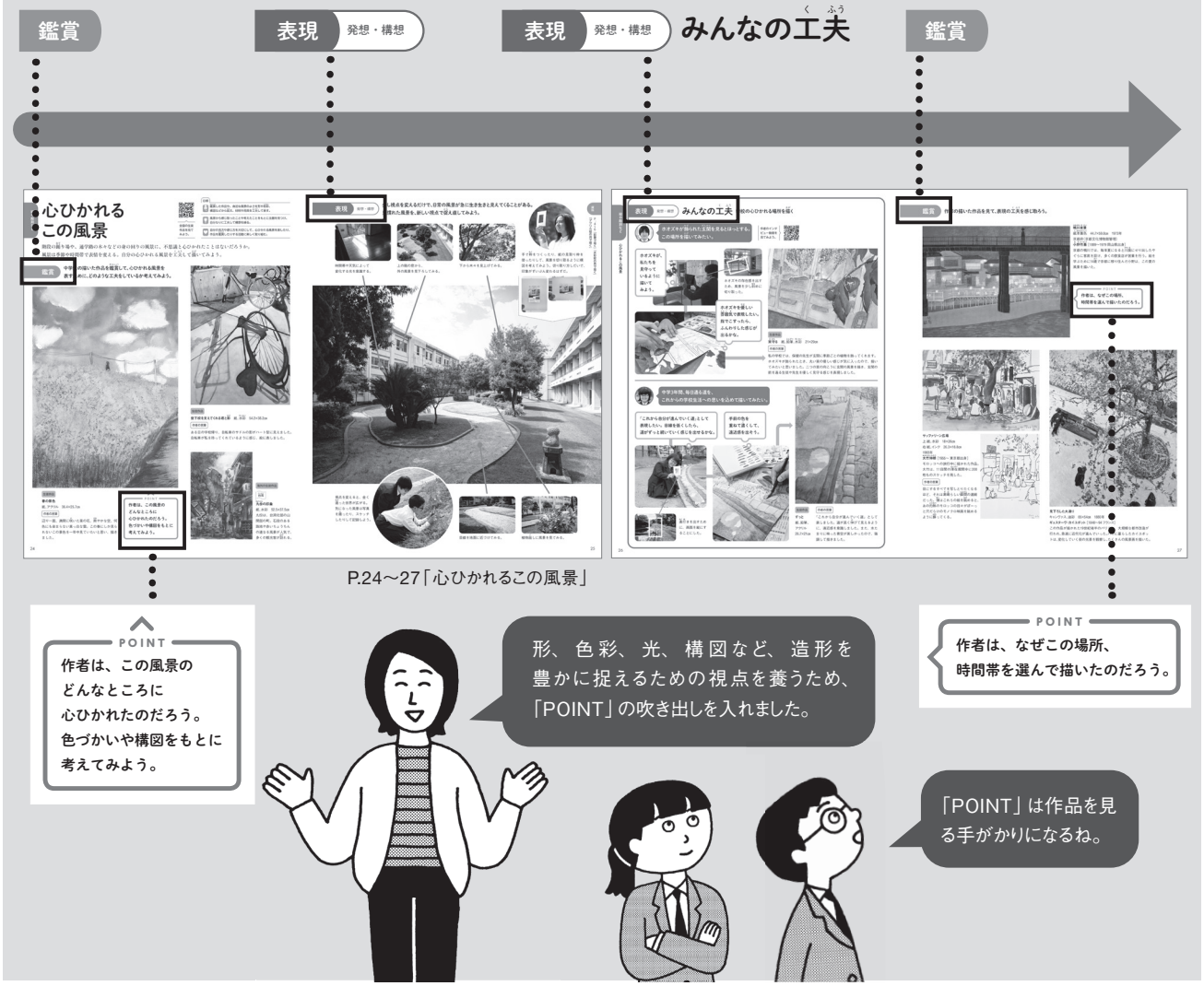
「表現」と「鑑賞」を一体的に学び、造形的な見方や考え方を広げる

・「表現」と「鑑賞」の相互の関連を意識し、一つの題材の中で一体的に学べる紙面構成にしました。

・鑑賞活動で培った造形的な視点を、表現活動で生かせるようにしています。

・鑑賞作品には、適宜、「POINT」の吹き出しを入れ、生徒たちが造形的な視点を意識できるようにしました。

【表現中心の4ページの題材の場合】



感性を刺激するオリエンテーション

小学校図画工作との接続を意識した、手厚いオリエンテーション

・中学校美術への期待感を高められるよう、オリエンテーションのページを充実させました。

中学校美術での学びを一望できるページ。

P.10〜11「美術の扉を開こう」

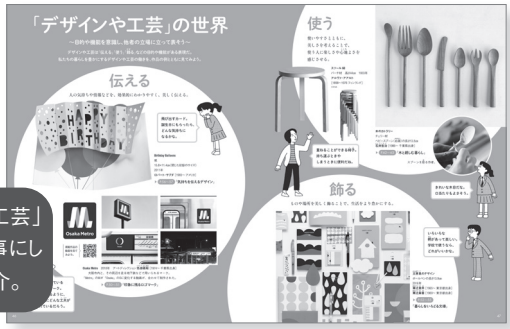
「絵や彫刻」の分野で大事にしたいことを紹介。

P.12〜13「『絵や彫刻』の世界」

作品の発想のしかたは多様であることを、リンゴを例に紹介。

P.14〜15「発想のしかたはさまざま」

「デザインや工芸」の分野で大事にしたいことを紹介。



P.46〜47「『デザインや工芸』の世界」

広がる・深まる鑑賞体験

拡大したり、書き込んだりしながら、鑑賞をもっと深める

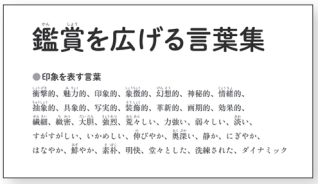
・鑑賞中心の題材では、作品を紙面に大きく掲載し、細部までじっくり鑑賞できるようにしました。

・二次元コードから、作品を拡大したり書き込んだりできる「書き込みツール＆高精細画像」にアクセスできます。
　その他にも、作家や作品の解説動画、鑑賞を広げる言葉集など、多彩なコンテンツをご用意しています。

P.20〜21
「体感ミュージアム『ムーラン・ド・ラ・ギャレットの舞踏場』を鑑賞しよう」

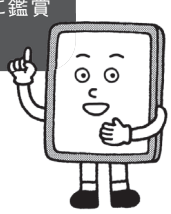
書き込みツール&高精細画像
作品に吹き出しを入れたり、線を書き込んだりできる。

解説動画「印象派」



鑑賞を広げる言葉集

端末でさまざまなコンテンツを活用することで、さらに鑑賞が深まるよ。



特色 2 創造的な力を培う

―― 創造活動の喜びを味わえる教科書です。

別冊「資料」は、学年が上がっても使い続けられるよ。

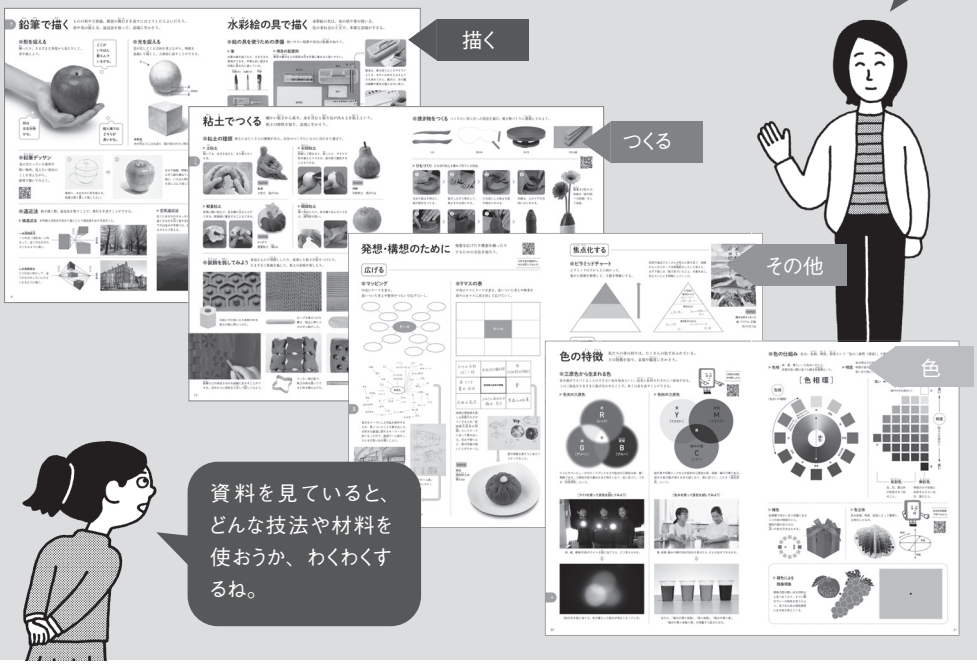
創造力をかき立てる資料

生徒たちの創作意欲を高める、別冊「資料」

・中学校美術での学びに必要な、技法や色の資料などを１冊にまとめ、参照しやすくしました。

別冊「資料」目次

描く	どうやって描く?
	鉛筆で描く
	水彩絵の具で描く
	アクリル絵の具で描く
	さまざまな描き方
	版画で表す
	文字をデザインする
	端末を活用する
つくる	どんな材料でつくる?
	紙でつくる
	粘土でつくる
	木でつくる
	金属でつくる／石でつくる
その他	写真を撮影する
	映像を制作する
	発想・構想のために
色	自然の中の形・色・光
	色の世界に出会う
	色の特徴
	色の効果と配色
	日本と世界の伝統色図鑑



資料を見ていると、どんな技法や材料を使おうか、わくわくするね。

特色 3 生活や社会につなぐ

―― 美術を通して、生活や社会を見つめる教科書です。

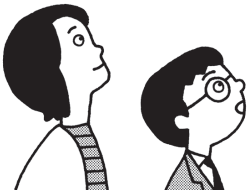
私たちの身の回りは、美術であふれているんだね。

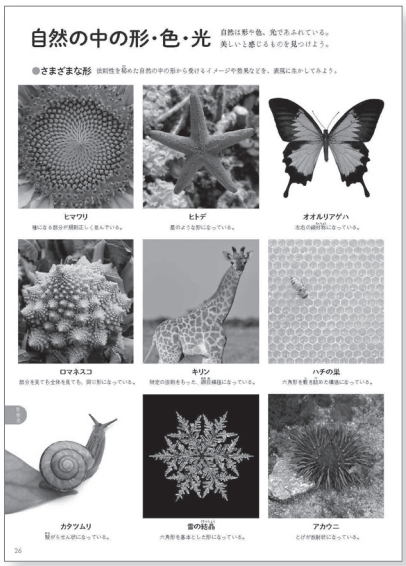
さまざまなトピックを掲載

身の回りの生活や社会に息づく美術を紹介

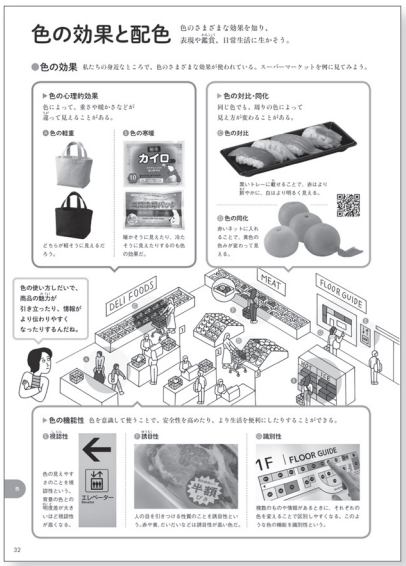
・美術の学びが、普段の生活や社会につながっていることを実感できるトピックを、多数掲載しました。

P.49「文字で楽しく伝える」





別冊「資料」P.26「自然の中の形・色・光」



別冊「資料」P.32「色の効果と配色」

教科書の特色

編集上の留意点	
教育基本法・ 学校教育法との対応	・教育基本法、学校教育法の理念を踏まえ、美術の学習を通して幅広い知識と教養を身につけ、さらに、「思考力・判断力・表現力」や「学びに向かう力」など、生きる力を支える能力を養えるよう配慮しました。
学習指導要領との対応	・学習指導要領の目標および内容をもれなく指導できるよう、題材を選定・作成しました。 ・各題材の目標を明確にし、表現や鑑賞の活動を通して「発想や構想に関する資質・能力」、「技能に関する資質・能力」、「鑑賞に関する資質・能力」を着実に身につけられるよう、系統的に配列しました。 ・「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けて、題材の構成を工夫しました。
題材の配列・分量	・「絵や彫刻など」「デザインや工芸など」という分野ごとに構成し、題材の内容に応じて「表現」と「鑑賞」のアイコンを明示することで、生徒が学習の内容をイメージしやすいよう配慮しました。 ・3学期制、2学期制どちらにも対応するよう、題材数、領域のバランスを工夫しました。 ・別冊「資料」として、材料と用具や〔共通事項〕に関わる資料をまとめ、生徒が必要に応じて活用できるようにしました。
掲載作品の選定	・発達段階や、生徒の学習意欲を喚起することを考慮し、作品を選定しました。 ・多くの生徒作品を掲載し、特に発想・構想のしかたに着目して選定しました。
主体的・対話的で 深い学びへの対応	・各題材の最初に鑑賞図版を掲載し、生徒が主体的に作品を鑑賞し、かつ対話が生まれるような問いを示しました。 ・各題材の学びの流れを明確にし、生徒が主体的に学習に取り組めるようにしました。 ・中学生の制作過程を詳しく示すことで、「自分ならどういう作品をつくりたいか」と生徒が主体的に考え、作品を発想できるよう、工夫しました。 ・生徒が主体的に表現活動を行えるよう、別冊「資料」を充実させ、材料と用具、〔共通事項〕に関わる内容を詳しく示しました。
ICTの活用	・二次元コードから、鑑賞を深める資料や表現活動に必要な技法の資料などを視聴できるようにしました。 ・中学生がタブレット端末を使って作品を制作する様子を紹介し、端末を効果的に活用するイメージがもてるようにしました。 ・別冊「資料」に「端末を活用する」というページを設け、具体的な活用方法を紹介しました。
道徳との関連	・道徳と関連する題材のページ下には、「道徳科とのつながり」というマークを示し、生徒が道徳との関連を意識して学べるよう、工夫しました。
他教科等との関連	・他教科と関連する題材には、「○○科とのつながり」というミニコラムを設け、他教科での学びを意識しながら、表現や鑑賞の活動が行えるように配慮しました。
SDGsとの関連	・SDGsと関連する題材のページ下には17の目標の番号を示し、生徒がSDGsとの関連を意識して学べるようにしました。
伝統・文化の取り上げ方	・題材で適宜、伝統工芸を取り上げるなど、日本の伝統・文化への理解が深まるよう配慮しました。
多様性の尊重	・掲載作品は、地域や時代、性別に偏りが出ないように配慮し、選定しました。 ・アール・ブリュットの作家の作品をはじめ、多様な表現を取り上げました。
人権への配慮	・さまざまな国や地域の作品や、作家の個性を生かした作品を掲載することで、多様な価値観を認め、相互理解の心を育めるよう配慮しました。 ・さまざまな発想で制作された生徒作品を示し、それらを認め合うような活動場面を設定しました。
安全指導への配慮	・別冊「資料」では、彫刻刀やのこぎりなどの道具を使う際の注意事項を、注意喚起のマークとともにわかりやすく示しました。
知的財産権や肖像権への配慮	・著作権や肖像権について詳しい解説を示し、他人の肖像権や著作権を侵害しないようにルールを守ることを、注意喚起のマークとともに示しました。
特別支援教育への配慮	教科書のユニバーサルデザイン、カラーユニバーサルデザイン（色覚特性）と、学習上支援が必要な生徒のために、特に以下の点に配慮しました。 ・教科書の全てのページについて、専門家の校閲を受けました。 ・図版と図版の間を空けたり、罫線を引いたりして、境界を明確に区別できるようにしました。 ・全学年を通して、文字がやや小さくなる場合は、読みやすさを強調してつくられたUD（ユニバーサルデザイン）フォントを使用しました。
判型・製本・印刷など	・本冊はA4ワイド判にし、鑑賞図版を大きくダイナミックに掲載しました。別冊「資料」は、制作中にいつでも参照できるよう、A4判の中綴じ製本にし、折り返してコンパクトに使えるようにしました。 ・鑑賞図版や文字が鮮明に印刷できる、発色のよいコート紙を使用しています。 ・環境への負荷が少ない、用紙・植物油インキを用いています。 ・製本は堅牢で、生徒がページを開きやすいよう綴じ方にも工夫をしています。
図画工作との接続	・学校生活への不安をなくし、美術での学習を明るくスタートできるよう、導入として「美術の扉を開こう」というページを設け、生徒が3年間の学びを見通し、これからの学習に期待感がもてるよう工夫しました。 ・絵や彫刻の題材に入る前に「『絵や彫刻』の世界」「発想のしかたはさまざま」というページを設け、絵や彫刻の学習で大事なことや、表現方法は多様であることを理解できるようにしました。また、デザインの題材に入る前には「『デザインや工芸』の世界」というページを設け、デザインや工芸そのものへの理解が深められるよう、配慮しました。

2. 対照表

[第 1 学年]

図書の構成・内容		学習指導要領の内容			該当箇所
		A　表現	B　鑑賞	〔共通事項〕	
はじめに	うつくしい！		(1) ア (ア) イ (ア)	(1) アイ	P.2-3
	うつくしい！ を探してみよう	※ (1) ア (ア)　(2) ア (ア)	(1) ア (ア) イ (ア)	(1) アイ	P.4-6
	教科書を活用しよう	―	―	―	P.8-9
	美術の扉を開こう		(1) ア (ア) (イ) イ (ア)	(1) アイ	P.10-11
絵や彫刻など	「絵や彫刻」の世界	(1) ア (ア)	(1) ア (ア)	(1) アイ	P.12-13
	発想のしかたはさまざま	(1) ア (ア)	(1) ア (ア)	(1) アイ	P.14-15
	見つめ、感じ取り、描く	(1) ア (ア)　(2) ア (ア) (イ)	(1) ア (ア) イ (ア)	(1) アイ	P.16-17
	自然の形や色を見つめて	(1) ア (ア)　(2) ア (ア) (イ)	(1) ア (ア) イ (ア)	(1) アイ	P.18-19
	体感ミュージアム「ムーラン・ド・ラ・ギャレットの舞踏場」を鑑賞しよう		(1) ア (ア) イ (イ)	(1) アイ	P.20-21
	その人らしさを捉える	(1) ア (ア)　(2) ア (ア) (イ)	(1) ア (ア)	(1) アイ	P.22-23
	心ひかれるこの風景	(1) ア (ア)　(2) ア (ア) (イ)	(1) ア (ア) イ (ア)	(1) アイ	P.24-27
	墨で表現する楽しさ	(1) ア (ア)　(2) ア (ア) (イ)	(1) ア (ア) イ (イ)	(1) アイ	P.28-29
	響き合う形と色	(1) ア (ア)　(2) ア (ア) (イ)	(1) ア (ア)	(1) アイ	P.30-31
	材料に命を吹き込む	(1) ア (ア)　(2) ア (ア) (イ)	(1) ア (ア) イ (ア)	(1) アイ	P.32-33
	版の表現を味わう	※ (1) ア (ア)　(2) ア (ア) (イ)	(1) ア (ア)	(1) アイ	P.34-35
	体感ミュージアム 「風神・雷神像」と「風神雷神図屏風」を鑑賞しよう		(1) ア (ア) イ (イ)	(1) アイ	P.36-43
	写真を撮る楽しさ	(1) ア (ア)　(2) ア (ア) (イ)	(1) ア (ア) イ (ア)	(1) アイ	P.44-45
デザインや工芸など	「デザインや工芸」の世界		(1) ア (イ) イ (ア)	(1) アイ	P.46-47
	文字で楽しく伝える	※ (1) イ (イ)　(2) ア (ア) (イ)	(1) ア (イ) イ (ア)	(1) アイ	P.48-49
	印象に残るロゴマーク	(1) イ (イ)　(2) ア (ア) (イ)	(1) ア (イ) イ (ア)	(1) アイ	P.50-51
	暮らしをいろどる文様	(1) イ (ア)　(2) ア (ア) (イ)	(1) ア (イ) イ (ア) (イ)	(1) アイ	P.52-55
	気持ちを伝えるデザイン	(1) イ (ア) (イ)　(2) ア (ア)	(1) ア (イ) イ (ア) (イ)	(1) アイ	P.56-57
	体感ミュージアム 「火焔型土器」を鑑賞しよう		(1) ア (ア) (イ) イ (イ)	(1) アイ	P.58-59
	生活の中の焼き物	(1) イ (ウ)　(2) ア (ア) (イ)	(1) ア (イ) イ (ア) (イ)	(1) アイ	P.60-61
	木と親しむ暮らし	(1) イ (ウ)　(2) ア (ア) (イ)	(1) ア (イ) イ (ア) (イ)	(1) アイ	P.62-63
	世界の仮面と出会う		(1) ア (イ) イ (イ)	(1) アイ	P.64-65
資料	美術館を楽しもう・芸術祭へ行こう		(1) ア (ア) (イ) イ (ア) (イ)	(1) アイ	P.66-67
	美術鑑賞を楽しむ手がかり		(1) ア (ア) イ (イ)	(1) アイ	P.68-69

※表現題材として扱う場合

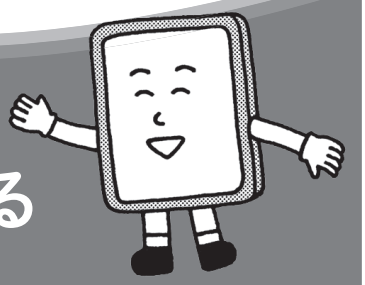
別冊「資料」	どうやって描く？	(2) ア (ア) (イ)		(1) アイ	P.2-3
	鉛筆で描く・水彩絵の具で描く	(2) ア (ア) (イ)		(1) アイ	P.4-5
	アクリル絵の具で描く・さまざまな描き方	(2) ア (ア) (イ)	(1) ア (ア)	(1) アイ	P.6-7
	版画で表す	(2) ア (ア) (イ)	(1) ア (ア)	(1) アイ	P.8-9
	文字をデザインする・端末を活用する	(2) ア (ア) (イ)		(1) アイ	P.10-11
	どんな材料でつくる？	(2) ア (ア) (イ)		(1) アイ	P.12-13
	紙でつくる	(2) ア (ア) (イ)	(1) ア (ア) イ (ア) (イ)	(1) アイ	P.14-15
	粘土でつくる	(2) ア (ア) (イ)	(1) ア (ア) (イ) イ (ア)	(1) アイ	P.16-17
	木でつくる・金属でつくる・石でつくる	(2) ア (ア) (イ)	(1) ア (ア) イ (ア)	(1) アイ	P.18-19
	写真を撮影する	(2) ア (ア) (イ)	(1) ア (ア) イ (ア)	(1) アイ	P.20-21
	映像を制作する	(2) ア (ア) (イ)		(1) アイ	P.22-23
	発想・構想のために	(1) ア (ア) イ (ア) (イ) (ウ)	(1) ア (ア) (イ) イ (ア)	(1) アイ	P.24-25
	自然の中の形・色・光	(1) ア (ア) イ (ア) (イ) (ウ) (2) ア (ア) (イ)	(1) ア (ア) (イ) イ (ア) (イ)	(1) アイ	P.26-27
	色の世界に出会う	(1) ア (ア) イ (ア) (イ) (ウ) (2) ア (ア) (イ)	(1) ア (ア) (イ) イ (ア) (イ)	(1) アイ	P.28-29
	色の特徴	(1) ア (ア) イ (ア) (イ) (ウ) (2) ア (ア) (イ)	(1) ア (ア) (イ) イ (ア) (イ)	(1) アイ	P.30-31
	色の効果と配色	(1) ア (ア) イ (ア) (イ) (ウ) (2) ア (ア) (イ)	(1) ア (ア) (イ) イ (ア) (イ)	(1) アイ	P.32-33
	日本と世界の伝統色図鑑	(1) ア (ア) イ (ア) (イ) (ウ) (2) ア (ア) (イ)	(1) ア (ア) (イ) イ (ア) (イ)	(1) アイ	P.34-35

編修趣意書

教育基本法との対照表

※受理番号	学校	教科	種目	学年
105-105	中学校	美術科	美術	第２・３学年
※発行者の番号・略称	※教科書の記号・番号	※教科書名		
38 光村	美術 038-82	美術２・３		

1. 編修の基本方針



美術で世界を広げ、深める

次世代を担う子供たちには、予測困難な社会の中でさまざまな変化に積極的に向き合い、他者と協働しながら新しい価値を創り出すことが求められています。この教科書で学ぶ子供たちが、自らの手で未来を切りひらき、人との関わりの中で力強く生き抜いていくための美術の力と豊かな感性を身につけられるよう、また、美術を学ぶ充実感を味わうことのできるよう、次のことを基底において編修しました。

特色 1

豊かな感性を育む

―― 造形的な視点を養い、感性を育む教科書です。

・・・

表現や鑑賞の活動を通して、造形的な見方や考え方を深められるよう、紙面構成を工夫しました。また、身の回りにある美術に目を向け、生活や社会の中の美術文化と豊かに関わることができるよう、多様な作品を掲載しました。

特色 2

創造的な力を培う

―― 創造活動の喜びを味わえる教科書です。

・・・

生徒自らが主題を生み出し、豊かに発想し構想を練ることができるよう、具体的な手立てを示しました。そして、発想し構想を練る力と、創造的に表す技能を相互に関連させながら育成できるように配慮しました。

特色 3

生活や社会につなぐ

―― 美術を通して、生活や社会を見つめる教科書です。

・・・

美術の学びを、授業の中だけで閉じることなく、普段の生活や社会へ生かすことができるようにしました。自ら考えたり、発信したりすることで、身につけた力をさらに強化し、生きる力に大きく転化していけるようにしました。

特色 1 豊かな感性を育む

―― 造形的な視点を養い、感性を育む教科書です。

紙面構成

「表現」と「鑑賞」を関連させた紙面構成。

全ての題材に「表現」と「鑑賞」のアイコンを入れ、それぞれの活動を関連づけて学べるようにしました。

鑑賞 題材の初めに、鑑賞の問いかけを示しました。表現活動につながる造形的な視点を養います。

表現 発想・構想 発想を広げ、構想を練るための具体的な手立てを示しました。

あれ? どうなっているの

美術作品には、美しさだけでなく、おもしろさや驚きを感じさせるものがある。
作者がしかけた遊び心を読み取ろう。そして、見た人の反応を想像しながら作品をつくってみよう。

鑑賞 日常ではありえない、どこか不思議な作品。どうしてそう見えるのか考えてみよう。

POINT 作品の中に入ったり、上から見たりしているところを想像し、作者がどうしてこのような作品を発想したのか、考えてみよう。

スイミング・プール
コンクリート、ガラス、水
2004年
高さ2.8m、幅4.60m、奥行5.97m
金沢21世紀美術館(石川県)
レアンドロ・エルリッヒ
[1973〜 アルゼンチン]
上から プールを見下ろすと、下にいる人が水の中を歩いているように見える。エルリッヒは、あたりまえだと思っていたことを疑ってみたり、新しい視点で見え直してみたりさせるような作品を制作している。

作品を上から見たところ。

表現 発想・構想

学校に不思議な空間をつくってみよう。

●学校の写真にアイデアをスケッチする

廊下に亀裂が入っているように見えたら、みんな驚くかな。

●見え方を確認しながら描く

友達と協力して、作品が立体的に見える位置から、何度も見え方を確認して描き進める。

学校の中の静けさ 紙、コンテ 160×100cm
ある角度から見ると、廊下に亀裂が入り、水たまりができているように見える。

P.20〜21「あれ? どうなっているの」

表現と鑑賞、相互の関連を図りながら学ぶことが求められています。

一つの作品を、さまざまな視点からじっくり鑑賞できるよう、「体感ミュージアム」という鑑賞中心の題材を設けました。

「体感ミュージアム」

作品を多角的な視点で鑑賞。

「明日の神話」岡本太郎

体感ミュージアム

「明日の神話」を鑑賞しよう

作者は、この作品にどんなメッセージを込めたのだろう。

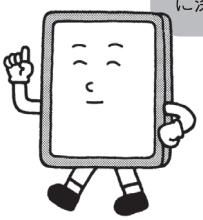
縄文の発見

作家紹介 岡本太郎 「芸術は爆発だ!」

さまざまなコンテンツを見て、「明日の神話」を体感しよう。
・書き込みツール&高精細画像
・解説動画「明日の神話・太陽の塔」
・解説動画「岡本太郎」
・鑑賞を広げる言葉集

P.24〜26「体感ミュージアム『明日の神話』を鑑賞しよう」

二次元コードから、コンテンツを見ることで、鑑賞がさらに深まるよ。



紙面の二次元コードから、作品の鑑賞をより深める、多様なコンテンツを視聴することができます。

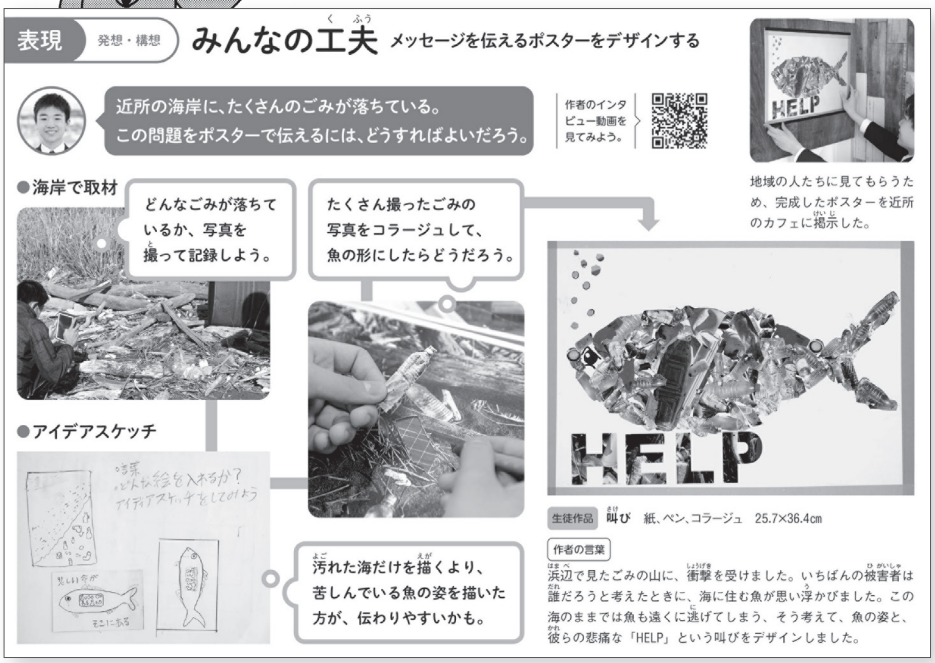
リンクしているコンテンツ
- 書き込みツール&高精細画像
- 解説動画「明日の神話・太陽の塔」
- 解説動画「岡本太郎」
- 鑑賞を広げる言葉集

特色 2 創造的な力を培う

―― 創造活動の喜びを味わえる教科書です。

「みんなの工夫」

中学生が試行錯誤しながら制作する様子を紹介しています。



P.72「みんなの工夫」

・生徒が作品を制作する様子を丁寧に取材し、試行錯誤しながら取り組む様子を詳しく紹介しました。

・「自分ならどう表現するだろう」と、生徒自身の発想・構想を促します。

特色 3 生活や社会につなぐ

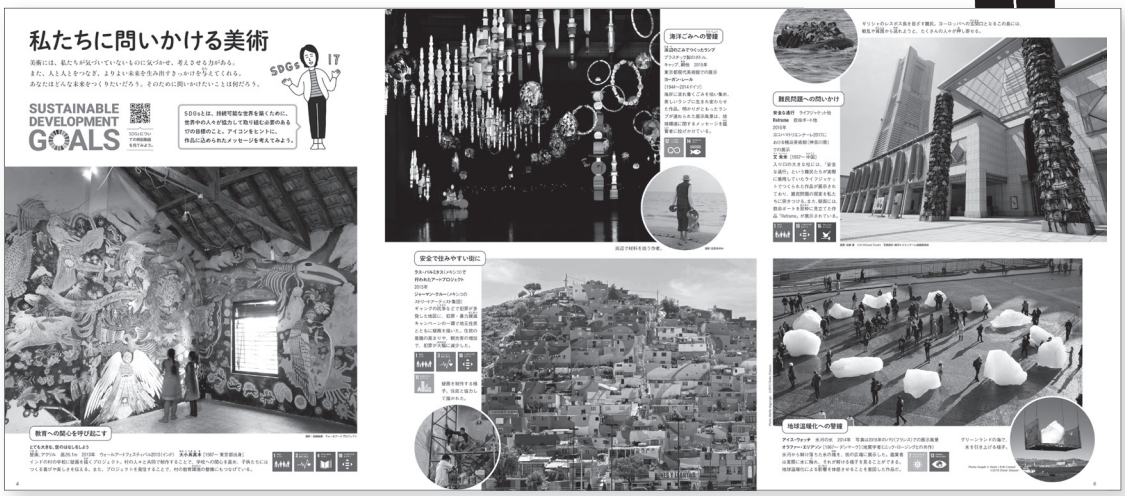
―― 美術を通して、生活や社会を見つめる教科書です。

巻頭「私たちに問いかける美術」

社会へ発信する美術を取り上げました。

さまざまな社会問題について、人々の関心を呼び覚ます美術作品を、巻頭に大きく掲載しました。

それぞれの作品は、どんなメッセージを発信しているのだろう。



P.4～6「私たちに問いかける美術」

海洋汚染、難民問題、地球温暖化などに問題提起をする美術作品を取り上げました。SDGsのマークを入れ、各作品が社会の諸問題に対して、どのようなメッセージを投げかけているのか考えさせる構成にしました。

2. 対照表

[第２・３学年]

図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
はじめに	作品とともに谷川俊太郎の文「うつくしい!」を掲載し、生徒自身が考え、判断し、真理を求めようとする態度を養うよう配慮しました。【第一号】	P.2-3
	真理を求める態度を養い、豊かな情操と道徳心を培うため、SDGsに関連した美術作品を大きく取り上げましました。【第一号】	P.4-6
絵や彫刻など	生徒自身が考え、判断し、真理を求めようとする態度を養うために、各題材に目標を明示するとともに、初めの「鑑賞」に問いを設定しました。【第一号】	P.8-67
	お互いの価値観を尊重しながら創造性を培うことができるよう、さまざまな発想のもとでつくられた作家や生徒の作品を掲載しました。作品には適宜「作者の言葉」を示しました。【第二号】	P.8-67
	自他の敬愛と協力を重んずる態度を養うため、実際の中学生が制作する様子や生徒どうしで意見を交換する様子などを掲載しました。【第三号】	P.9-10 P.21、P.23 P.49、P.53 P.56-57
	美術の学習が、豊かな情操と道徳心を培うことにつながっていることを意識できるように、ページ下に適宜「道徳科とのつながり」マークを示し、道徳の学習と関連する内容を示しました。【第一号】	P.12-15 P.24-26 P.43-45 P.46-47 P.54-59 P.60-67
	幅広い知識と教養を身につけ、真理を求める態度を養うため、ウェブコンテンツとともに鑑賞することで、鑑賞を深める「体感ミュージアム」という題材を設定しました。【第一号】	P.12-15 P.24-26 P.60-67
	主体的な学習活動を通して判断力や真理を求める態度を養うために、質感の異なる紙を使用し、生徒が関心をもって学習に臨めるよう配慮しました。【第一号】	P.27-42
	伝統と文化を尊重し、それらを育んできた我が国と郷土を愛する態度を養うため、我が国で大切にされてきた美術文化を積極的に掲載しました。【第五号】	P.27-42 P.50-51
	美術の学習が、豊かな情操と道徳心を培うことにつながっていることを意識できるように、ページ下に適宜SDGsの17の目標の番号を入れ、関連を示しました。【第一号】	P.46-47 P.60-67
	平和を希求する心が育つよう、平和について考えるきっかけになるような作品を取り上げました。【第五号】	P.60-67
デザインや工芸など	生徒がデザインや工芸と日常生活との関連を意識できるよう、中学生の1日を例にしてデザインや工芸について考えることができるオリエンテーションのページを設定しました。【第二号】	P.68-69
	生徒自身が考え、判断し、真理を求めようとする態度を養うために、各題材に目標を明示するとともに、初めの「鑑賞」に問いかけを設定しました。【第一号】	P.70-93
	お互いの価値観を尊重しながら創造性を培うことができるよう、さまざまな発想のもとでつくられた作家や生徒の作品を掲載しました。作品には、適宜「作者の言葉」を添えるとともに、作家の発想・構想をコラムとして示しました。【第二号】	P.70-93
	美術の学習が、豊かな情操と道徳心を培うことにつながっていることを意識できるように、ページ下に適宜SDGsの17の目標の番号を入れ、関連を示しました。【第一号】	P.70-73 P.76-77 P.80-83 P.88-93
	平和を希求する心が育つよう、平和や国際協力について考えるきっかけになるような作品を取り上げました。【第五号】	P.70-73
	公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うために、ポスターやピクトグラム、空間デザインなど公共の場におけるデザインの働きについて取り上げました。【第三号】	P.70-73 P.76-77 P.80-81 P.92-93
	美術の学習が、豊かな情操と道徳心を培うことにつながっていることを意識できるように、ページ下に適宜「道徳科とのつながり」マークを示し、道徳の学習と関連する内容を示しました。【第一号】	P.70-83 P.88-93
	自他の敬愛と協力を重んずる態度を養うため、実際の中学生が制作する様子や生徒どうしで意見を交換する様子などを掲載しました。【第三号】	P.72、P.77 P.79、P.85 P.90-91
	自然に親しみ、大切にする態度を養うため、環境の保全について伝えるデザインや、和菓子などの自然を取り入れ発展してきた美術文化などを取り上げました。【第四号】	P.72 P.78-79
学習を支える資料	我が国の伝統と文化とともに他国を尊重する姿勢を養うため、仏像の鑑賞のしかたや、日本及び諸外国の美術史年表などを掲載しました。【第五号】	P.96-100
	伝統と文化を尊重し、それらを育んできた我が国と郷土を愛する態度を養うため、日本の伝統工芸、アイヌや琉球の民族衣装について学習する資料を設定しました。【第五号】	P.101-103
おわりに	真理を求める態度を養い、豊かな情操と道徳心を培うために、美術の働きや力について考えさせる「美術の力」というページを設けました。【第一号】	P.104-105

3. 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

特別支援教育への配慮

ユニバーサルデザイン・カラーユニバーサルデザインの観点から、全ての生徒に使いやすい教科書を目ざしました。教科書の全ページについて、専門家の校閲を受けています。

学習支援上の配慮

・学習の流れを把握し、見通しをもつことが生徒の理解を助けます。そこで、全ての題材に「表現」「鑑賞」のアイコンを入れ、学びの流れがひと目でわかるようにしました。また、「表現」については、発想・構想の具体的な手立てを示しました。

色覚特性への配慮

・色に頼ることなく線の種類や濃淡でも識別できること、色覚特性により判別しにくくなる色の組み合わせは行わないことなどを基本に作成しました。

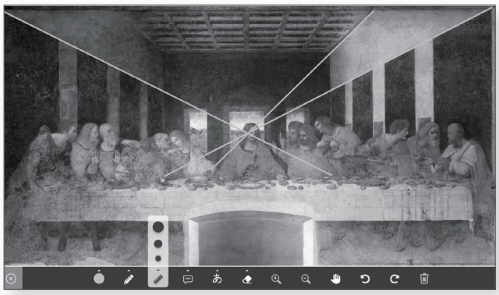
書体に関する配慮

・「目標」や資料へのリンクなどの小さな文字は、UD フォントを使い、視認性・可読性を高めました。

誰もが学びやすいよう、さまざまな配慮がされているよ。

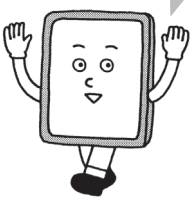
ICT 活用への配慮

二次元コードが示された箇所には、作品に書き込んで鑑賞できる「書き込みツール」や、技法動画、作家や作品の解説動画など、生徒の興味・関心を高めたり、学習を深めたりできる資料を豊富に収めました。



書き込みツール&高精細画像「最後の晩餐」

技法動画「水彩絵の具で風景を描く」



端末でコンテンツを見て、作品の理解を深めたり、技法を確認したりできるよ。

今日的課題への取り組み

生徒たちを取り巻くさまざまな課題に対し、関連性を示したり、関心を促すコラムを設けたりしています。

SDGs との関連

・巻頭に SDGs に関連する美術作品を、大きく取り上げました。また、美術の学習が、SDGs の 17 の目標とどのように関連しているか、各題材のページ下にマークを入れて示しました。

道徳教育との関連

・道徳科での学習とのつながりが捉えやすいよう、ページ下にマークを入れました。

カリキュラム・マネジメント

・他教科の学習と関連がある題材には、「○○科とのつながり」というミニコラムを設定しました。

防災教育との関連

・防災の知識を身につけたり、災害時に安全に避難したりするためのデザインを取り上げ、鑑賞する題材を設けました。

多様性の尊重

・さまざまな国や地域、ジェンダーバランスを意識して、掲載する作品を選定しました。

SDGs 3 9 10 11

SDGsや道徳教育との関連は、各題材のページ下に示した。

道徳科とのつながり　思いやり、感謝／公正、公平、社会正義／社会参画、公共の精神

P.82～83「防災のデザイン」

編 修 趣 意 書

学習指導要領との対照表

※受理番号	学校	教科	種目	学年
105-105	中学校	美術科	美術	第２・３学年
※発行者の番号・略称	※教科書の記号・番号	※教科書名		
38 光村	美術 038-82	美術 2・3		

1. 編修上特に意を用いた点や特色

特色 1 豊かな感性を育む

── 造形的な視点を養い、感性を育む教科書です。

学びが深まる紙面構成

「表現」と「鑑賞」を一体的に学び、造形的な見方や考え方を深める

・「表現」と「鑑賞」の相互の関連を意識し、一つの題材の中で一体的に学べる紙面構成にしました。

・鑑賞活動で培った造形的な視点を、表現活動で生かせるようにしています。

・鑑賞作品には、適宜、「POINT」の吹き出しを入れ、生徒たちが造形的な視点を意識できるようにしました。

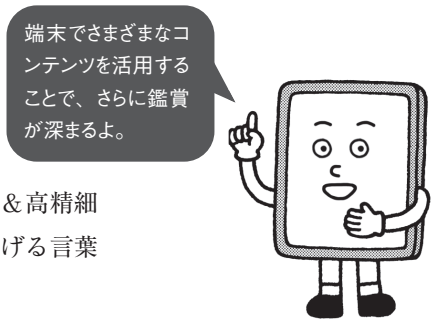
【表現中心の4ページの題材の場合】

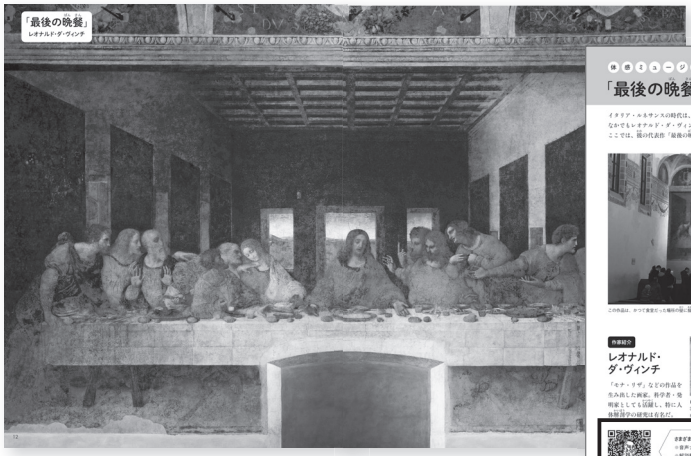
広がる・深まる鑑賞体験

拡大したり、書き込んだりしながら、鑑賞をもっと深める

・鑑賞中心の題材では、作品を紙面に大きく掲載し、細部までじっくり鑑賞できるようにしました。

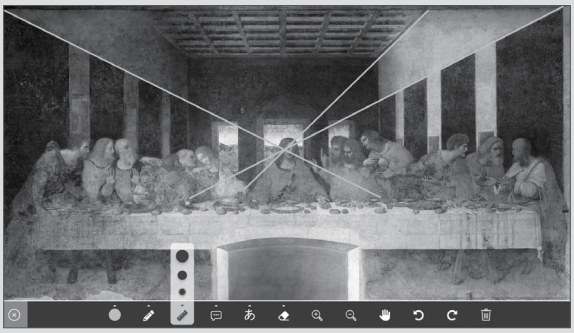
・二次元コードから、作品を拡大したり書き込んだりできる「書き込みツール＆高精細画像」にアクセスできます。その他にも、作家や作品の解説動画、鑑賞を広げる言葉集など、多彩なコンテンツをご用意しています。





P.12～15「体感ミュージアム『最後の晩餐』を鑑賞しよう」

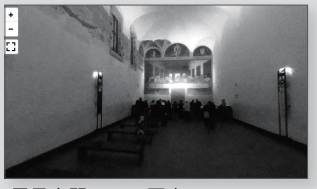
鑑賞を深める 多彩なコンテンツ にリンク



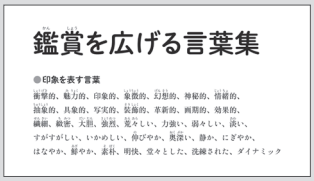
書き込みツール&高精細画像
作品に吹き出しを入れたり、線を書き込んだりできる。

解説動画「レオナルド・ダ・ヴィンチ」

解説動画「ルネサンス」



展示空間の360°写真



鑑賞を広げる言葉集

日本美術の魅力を存分に

風合いのある用紙で、日本の絵画をじっくり味わう

・日本美術のよさを存分に味わえるよう、16ページにわたり、五つの切り口で、日本の絵画を紹介しています。

・風合いのある用紙に印刷しているため、実物に近い感覚で鑑賞することができます。

P.27～42「日本の絵画を楽しむ五つのキーワード」

①四季
②動物
③不思議
④余白
⑤構図
という
五つのキーワードで、日本の絵画を紹介。

特色 2 創造的な力を培う

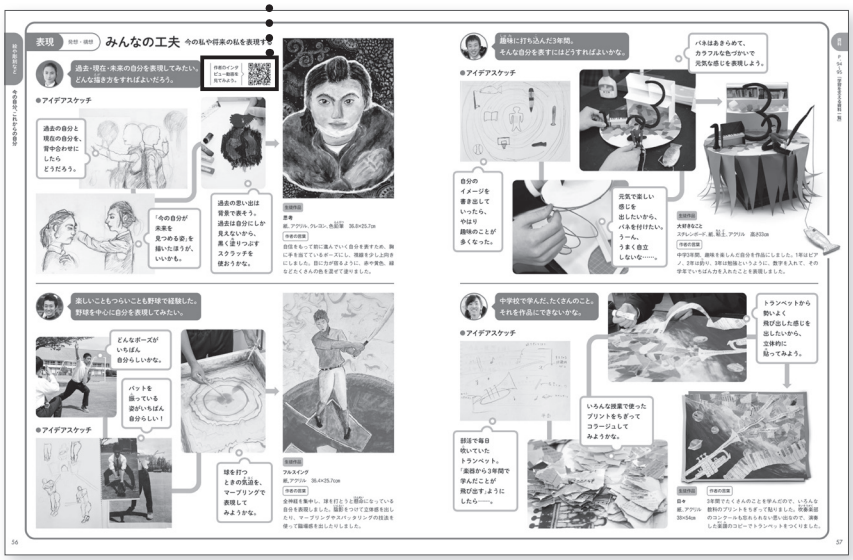
―― 創造活動の喜びを味わえる教科書です。

発想・構想のヒントになる「みんなの工夫」

中学生が発想を広げ、構想を練って制作する様子を紹介

・「みんなの工夫」と題し、実際の中学生がどのように作品を発想し、試行錯誤しながらつくりあげたかを詳しく紹介しています。

二次元コードから、作者である生徒のインタビュー動画を見ることができます。



P.56～57「みんなの工夫」
4人の生徒の制作の様子を取材して紹介。「今の自分や将来の自分を表現する」という題材で、さまざまな技法や材料を使って、思い思いの「自分」を表現している。

「みんなの工夫」が掲載されている題材

P.10「心の中の風景を表す」
P.56～57「今の自分、これからの自分」
P.72「メッセージを伝える」
P.90～91「地域の魅力を表すパッケージ」

特色 3 生活や社会につなぐ

―― 美術を通して、生活や社会を見つめる教科書です。

さまざまなトピックを掲載

身の回りの生活や社会に息づく美術を紹介

・美術の学びが、普段の生活や社会につながっていることを実感できる題材を、多数掲載しました。

P.68～69
「暮らしの中のデザイン・工芸」

P.76～77
「わかりやすく情報を伝える」

P.80～81
「みんなのためのデザイン」

P.92～93「憩いの場をつくる」

教科書の特色

編集上の留意点	
教育基本法・ 学校教育法との対応	・教育基本法、学校教育法の理念を踏まえ、美術の学習を通して幅広い知識と教養を身につけ、さらに、「思考力・判断力・表現力」や「学びに向かう力」など、生きる力を支える能力を養えるよう配慮しました。
学習指導要領との対応	・学習指導要領の目標および内容をもれなく指導できるよう、題材を選定・作成しました。 ・各題材の目標を明確にし、表現や鑑賞の活動を通して「発想や構想に関する資質・能力」、「技能に関する資質・能力」、「鑑賞に関する資質・能力」を着実に身につけられるよう、系統的に配列しました。 ・「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けて、題材の構成を工夫しました。
題材の配列・分量	・「絵や彫刻など」「デザインや工芸など」という分野ごとに構成し、題材の内容に応じて「表現」と「鑑賞」のアイコンを明示することで、生徒が学習の内容をイメージしやすいよう配慮しました。 ・3学期制、2学期制どちらにも対応するよう、題材数、領域のバランスを工夫しました。 ・巻末に美術史年表をまとめ、生徒が必要に応じて活用できるようにしました。
掲載作品の選定	・発達段階や、生徒の学習意欲を喚起することを考慮し、作品を選定しました。 ・多くの生徒作品を掲載し、特に発想・構想のしかたに着目して選定しました。
主体的・対話的で 深い学びへの対応	・各題材の最初に鑑賞図版を掲載し、生徒が主体的に作品を鑑賞し、かつ対話が生まれるような問いを示しました。 ・各題材の学びの流れを明確にし、生徒が主体的に学習に取り組めるようにしました。 ・中学生の制作過程を詳しく示すことで、「自分ならどういう作品をつくりたいか」と生徒が主体的に考え、作品を発想できるよう、工夫しました。
ICTの活用	・二次元コードから、鑑賞を深める資料や表現活動に必要な技法の資料などを視聴できるようにしました。 ・中学生がタブレット端末を使って作品を制作する様子を紹介し、端末を効果的に活用するイメージがもてるようにしました。
道徳との関連	・道徳と関連する題材のページ下には、「道徳科とのつながり」というマークを示し、生徒が道徳との関連を意識して学べるよう、工夫しました。
他教科等との関連	・特に他教科と関連する題材には、「○○科とのつながり」というコラムを設け、他教科での学びを意識しながら、表現や鑑賞の活動が行えるように配慮しました。
SDGsとの関連	・巻頭で「私たちに問いかける美術」と題し、SDGsに関連する美術作品を示し、美術が持続可能な社会へ果たす役割について考えられるようにしました。 ・SDGsと関連する題材のページ下には17の目標の番号を示し、生徒がSDGsとの関連を意識して学べるようにしました。
伝統・文化の取り上げ方	・日本の絵画を特集するページを設け、平安時代から近代までの日本美術を幅広く取り上げ、日本の美意識への理解が深められるようにしました。 ・47都道府県すべての伝統工芸品や、アイヌや琉球の民族衣装を紹介したり、題材で伝統工芸を適宜取り上げたりするなど、日本の伝統・文化への理解が深まるよう配慮しました。
多様性の尊重	・掲載作品は、地域や時代、性別に偏りが出ないように配慮し、選定しました。 ・アール・ブリュットの作家の作品をはじめ、多様な表現を取り上げました。 ・多様性をテーマに制作した生徒作品を積極的に掲載しました。
人権への配慮	・さまざまな国や地域の作品や、作家の個性を生かした作品を掲載することで、多様な価値観を認め、相互理解の心を育めるよう配慮しました。 ・さまざまな発想で制作された生徒作品を示し、それらを認め合うような活動場面を設定しました。 ・いじめ防止や差別撤廃など、人権をテーマに制作した生徒作品を積極的に掲載しました。
防災教育への配慮	・生徒たちの防災意識を高められるよう、東日本大震災などの自然災害の後につくられた美術作品や防災の取り組みを随所で取り上げました。 ・「防災のデザイン」という題材を設け、デザインが防災へ果たす役割について考えられるようにしました。
知的財産権や肖像権への配慮	・作品を制作するときは著作権や肖像権に十分配慮し、ルールを守って使用することを、注意喚起のマークとともに示しました。
特別支援教育への配慮	教科書のユニバーサルデザイン、カラーユニバーサルデザイン（色覚特性）と、学習上支援が必要な生徒のために、特に以下の点に配慮しました。 ・教科書の全てのページについて、専門家の校閲を受けました。 ・図版と図版の間を空けたり、罫線を引いたりして、境界を明確に区別できるようにしました。 ・全学年を通して、文字がやや小さくなる場合は、読みやすさを強調してつくられたUD（ユニバーサルデザイン）フォントを使用しました。
判型・製本・印刷など	・A4ワイド判を採用し、鑑賞図版を大きくダイナミックに掲載しました。 ・鑑賞図版や文字が鮮明に印刷できる、発色のよいコート紙を使用しています。 ・環境への負荷が少ない、用紙・植物油インキを用いています。 ・製本は堅牢で、生徒がページを開きやすいよう綴じ方にも工夫をしています。 ・鑑賞活動がより深まるように、日本の絵画を鑑賞するページでは、質感の異なる紙に印刷をしています。

2. 対照表

[第2・3学年]

図書の構成・内容		学習指導要領の内容			該当箇所
		A　表現	B　鑑賞	〔共通事項〕	
はじめに	うつくしい！		(1) ア (ア) イ (ア) (イ)	(1) アイ	P.2-3
	私たちに問いかける美術		(1) ア (ア) イ (ア)	(1) アイ	P.4-6
絵や彫刻など	心の中の風景を表す	(1) ア (ア)　(2) ア (ア) (イ)	(1) ア (ア) イ (ア)	(1) アイ	P.8-11
	体感ミュージアム 「最後の晩餐」を鑑賞しよう		(1) ア (ア) イ (イ)	(1) アイ	P.12-15
	空想の世界へようこそ	(1) ア (ア)　(2) ア (ア) (イ)	(1) ア (ア) イ (イ)	(1) アイ	P.16-19
	あれ？どうなっているの	(1) ア (ア)　(2) ア (ア) (イ)	(1) ア (ア)	(1) アイ	P.20-21
	形と色の挑戦	(1) ア (ア)　(2) ア (ア) (イ)	(1) ア (ア)	(1) アイ	P.22-23
	体感ミュージアム 「明日の神話」を鑑賞しよう		(1) ア (ア) イ (ア) (イ)	(1) アイ	P.24-26
	日本の絵画を楽しむ五つのキーワード		(1) ア (ア) イ (ア) (イ)	(1) アイ	P.27-42
	ゴッホと浮世絵		(1) ア (ア) イ (イ)	(1) アイ	P.43-45
	環境とともに生きる彫刻	(1) ア (ア)　(2) ア (ア) (イ)	(1) ア (ア) イ (ア)	(1) アイ	P.46-47
	躍動感を捉える	(1) ア (ア)　(2) ア (ア) (イ)	(1) ア (ア)	(1) アイ	P.48-49
	漫画表現を楽しむ	※ (1) ア (ア)　(2) ア (ア) (イ)	(1) ア (ア) イ (イ)	(1) アイ	P.50-51
	心を動かすアニメーション	(1) ア (ア)　(2) ア (ア) (イ)	(1) ア (ア)	(1) アイ	P.52-53
	今の自分、これからの自分	(1) ア (ア)　(2) ア (ア) (イ)	(1) ア (ア) イ (イ)	(1) アイ	P.54-59
	体感ミュージアム 「ゲルニカ」を鑑賞しよう		(1) ア (ア)	(1) アイ	P.60-67
デザインや工芸	暮らしの中のデザイン・工芸		(1) ア (イ) イ (ア)	(1) アイ	P.68-69
	メッセージを伝える	(1) イ (イ)　(2) ア (ア) (イ)	(1) ア (イ) イ (ア)	(1) アイ	P.70-73
	印象に残る映像表現		(1) ア (イ) イ (ア)	(1) アイ	P.74-75
	わかりやすく情報を伝える	(1) イ (イ)　(2) ア (ア) (イ)	(1) ア (イ) イ (ア)	(1) アイ	P.76-77
	季節感のある暮らし	(1) イ (ア)　(2) ア (ア) (イ)	(1) ア (イ) イ (ア) (イ)	(1) アイ	P.78-79
	みんなのためのデザイン	※ (1) イ (ウ)　(2) ア (ア)	(1) ア (イ) イ (ア)	(1) アイ	P.80-81
	防災のデザイン		(1) ア (イ) イ (ア)	(1) アイ	P.82-83
	あかりがつくる空間	(1) イ (ウ)　(2) ア (ア) (イ)	(1) ア (イ) イ (ア)	(1) アイ	P.84-85
	形や材料で比べる		(1) ア (イ) イ (ア)	(1) アイ	P.86-87
	地域の魅力を表すパッケージ	(1) イ (ア) (イ) (ウ)　(2) ア (ア) (イ)	(1) ア (イ) イ (ア)	(1) アイ	P.88-91
	憩いの場をつくる		(1) ア (イ) イ (ア)	(1) アイ	P.92-93
資料	学習を支える資料一覧	(1) ア (ア) イ (ア) (イ) (ウ) (2) ア (ア) (イ)		(1) アイ	P.94-95
	仏像について知ろう		(1) ア (ア) (イ) イ (イ)	(1) アイ	P.96-97
	美術史年表		(1) ア (ア) (イ) イ (ア) (イ)	(1) アイ	P.98-100
	日本の伝統工芸		(1) ア (イ) イ (ア) (イ)	(1) アイ	P.101-102
	北と南の民族衣装		(1) ア (イ) イ (ア) (イ)	(1) アイ	P.103
おわりに	美術の力		(1) ア (ア) イ (ア) (イ)	(1) アイ	P.104-105
	うつくしい！		(1) ア (ア) イ (ア)	(1) アイ	P.106-107

※表現題材として扱う場合